

1 対象事業の概要

市民主体の文化芸術活動・発表の場を創出し、文化芸術に関わる人材の発掘・育成を促進
☞文化振興の基盤となる「人づくり」

(1) とよた市民アートプロジェクト

- 目的：①市民主体で本市ならではの魅力ある文化イベントを創り上げる
②多くの市民を巻き込み、文化芸術活動者の人材育成・発掘や関心層のすそ野を拡大
手段：まちなか芸術祭等の開催（市民主体でまちなかの公共空間に展示等を行うイベント）

(2) とよたデカスプロジェクト

- 目的：①アートプロジェクトを総合的にマネジメントできる人材を発掘しスキルアップ
②アートを通じて豊田市の宝（魅力）を発信
手段：アートプロジェクトを公募し、実施をサポート（費用・広報等）

2 事業の位置付け

第8次豊田市総合計画【2017年～2024年】実践計画事業（優先的・重点的な事業）
☞次期総合計画（2025年～）期間における事業展開を検討する必要がある。

3 事業の振り返り

(1) 体系図と実績

別紙1「市民によるアートプロジェクト推進事業の体系図と実績」参照

(2) 主な課題

- ①とよた市民アートプロジェクト
・コロナ禍の影響で交流機会が激減し、活動者間のつながりが希薄化している。
・「魅力ある文化イベント」としての認知度や関心がまだまだ低い。
- ②とよたデカスプロジェクト
・地域等の巻き込みや、魅力の発信が十分にできていないプロジェクトが多い。
・マネジメントできる人材がさらにスキルアップするための取組が不十分。
- ③2事業共通
・人材育成に注力した場合、作品やプロジェクトの質が担保できず、魅力の発信が難しい。
・魅力の発信に注力した場合、作品やプロジェクトの質にこだわるため、人材育成が難しい。

4 評価

- 実績や状況から、事業目的（1 対象事業の概要 各①②）に資する一定の成果があったため、今後も「市民によるアートプロジェクト推進事業」を継続する方向で調整を進める。
- ただし、課題の解決や社会環境・ニーズ変化への対応、厳しい財政状況を踏まえた対策（最小の経費で最大の効果を上げる）などを踏まえ、より効果的な手段を検討する必要がある。

5 今後の方向性（案）

(1) 「つながり」と「巻き込み」を強化

- 他者とのつながりによって刺激を受け、主体的な活動や自身の成長につなげてもらう。
 - 他分野とのつながりや地域住民の巻き込みを強化し、社会を活性化する。
- 【例】大交流会の定期開催、農村舞台アートプロジェクト※との融合 など
※農山村にある神社の境内などに建てられた芸能舞台を活用したアートイベント（アートによる地域資源の魅力発信）

(2) 人材育成と魅力発信の両立・強化

- 左記「3 事業の振り返り（2）③」を解消するために明確な対策を講じ、いずれも最大の効果を上げる。
- 【例】とよた市民アートプロジェクト：著名アーティストの招聘
芸術祭に著名アーティストを招聘し、作品展示や他出展者へのレクチャーを実施
とよたデカスプロジェクト：目的別のコース設定
育成コース（賞金低・人的サポート多）／魅力発信コース（賞金多・人的サポート少）

(3) こどもたちのミライを意識

- 文化芸術の持続的な発展のためには、次代を担うこどもたちの関心を高めることが重要。
 - 多くのこどもたちがワクワクし、将来チャレンジしたいと思えるような展開を意識する。
- 【例】こども向けワークショップの開催、地域学校共働本部※との事業連携
※学校と地域がこどものために共働で活動するための組織で、豊田市は全小中学校に設置

これらの方向性を踏まえ、現在行っている2事業や、その他関係性が高い事業を包括的に勘案し、効果的で持続可能な事業スキームを構築していく。

6 スケジュール（予定）

次期総合計画開始（2025年4月～）までの事務スケジュールは以下のとおり。

| 時期 | 内容 |
|-----------|------------------------------|
| ～2024年 3月 | 市民によるアートプロジェクト推進事業の内容と位置付け整理 |
| 2024年 5月 | 第9次総合計画 素案の作成 |
| 8月 | 第9次総合計画 パブリックコメントの実施 |
| 2024年 10月 | 2025年度当初予算編成 |
| 2025年 3月 | 第9次総合計画の策定 |

とよたデカスプロジェクト 2018 採択事業

「場をひらく - 豊田南部芸術遊技場「アトリエVIP」プロジェクト」

